



A 地すべり地形を利用した神在居の棚田と、地形の谷間をぬう様に源流部を東西に横断する栲原街道。（栲原町神在居）



B 辻に立ち旅人を迎える茶堂。山ひとつ越えれば伊予に入る。（栲原町茶や谷）



C 山間を曲流する四万十川が蛇行跡をつくり出し、安定した旧河道は農地として利用されている。(津野町船戸)



D 林業から茶業への転換を可能にした源流域の気候風土。(津野町口目ヶ市)



E 川の流れが安定する高南台地では四万十川に堰を築き水田を潤す。(中土佐町大股)



F 四万十川からの灌漑用水により仁井田米やショウガの栽培が盛んな高南台地。(四万十町米奥・市生原)



G 筏師や船頭が航行の安全を祈願した四万十川最大の中州・三島は、現在は農地として轟集落を支える。(四万十町三島)



H 筏の中継地であった久保川口の対岸に形成された筏師の集落。(四万十町小野)



I 黒尊山から森林軌道で運び出された木材が筏に組まれた水運の拠点。（四万十市口屋内）



J かつての森林軌道のメガネ橋は、伊予文化の影響を象徴する牛鬼の主要な順路となる。（四万十町下津井）



K 四万十川中流では現在も火振り漁が行われ、漁業資源の豊さを物語る。(四万十町大正)



L 水運から陸運への輸送形態の転換を象徴する沈下橋。(四万十市佐田)



M 四万十川河口の積出港として成立した下田。（四万十市下田）



N 河口の新たな生業として導入されたヒトエグサ養殖。（四万十市下田）



O 四万十川流域からの林産物の積出港として栄えた久礼の記憶を残す海岸沿いの炭納屋群。(中土佐町久礼)



P 水戸の旧船着き場からの主道沿いに建つ廻船問屋・森山家住宅。(四万十市下田)